と認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低の価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

⑺　手続きにおける交渉の有無　無

⑻　詳細は入札説明書による。

5　Summary

⑴　Deputy of President : Takashi Takeuchi, Procurement Department, Japan Pension Service

⑵　Classification of the services to be procured : 71, 27

⑶　Nature and quantity of the services to be required : Various input consignments of report book

①　01 Hokkaido 1 set
②　02 Tohoku 1 set
③　04 Tohoku 1 set
④　15 Chubu 1 set
⑤　16 Kinki 1 set
⑥　17 Kinki 1 set
⑦　20 Kinki 1 set
⑧　23 Shikoku 1 set

⑷　Performance period : From date of contract through through 30, September 2014

⑸　Delivery place : Places designated by Japan Pension Service

⑹　Qualifications for participating in the tendering procedures : Suppliers eligible for participating in the proposed tender are those who shall ;

①　It must be a person who doesn't correspond to the person and the bankrupt who doesn't have the ability that the corresponding contract concludes by not obtaining rehabilitation.

②　It is a person who disturbed the execution of the duty as the person and the staff who disturbed the fulfillment of the person and the highest bidder who disturbed the execution of a person who did the act of injustice for the compact prosecution and a fair competition of the contract, and it is ill-founded and it person who doesn't correspond to the person who doesn't perform a contract.

③　Have the Grade A, Grade B or Grade C in "Service" in terms of the qualification for participating in tenders by the Ministry of Health, Labour and Welfare (Single qualification for every ministry and agency) ①in Hokkaido area, ②～③in Tohoku area, ④in Tokai-Hokuriku area, ⑤in Tokai-Hokuriku or Kinki area, ⑥～⑦in Kinki area, ⑧in Shikoku area, in fiscal years 2010, 2011, 2012

④　Prove to have actually engaged in fair amount of similar matters properly

⑤　Prove to have the ability to provide sufficient service with certainty

⑥　Prove to have no false statement in tendering documents

⑦　Prove neither the business condition nor credibility is deteriorating

⑧　Meet the qualification requirements which Official in charge of disbursement of the procuring entity may specify in accordance with Article 73 of the Cabinet Order

⑺　Time-limit for Tender :

①　1 : 00 PM, 15 November 2012
②　1 : 30 PM, 15 November 2012
③　2 : 00 PM, 15 November 2012
④　2 : 30 PM, 15 November 2012
⑤　3 : 00 PM, 15 November 2012
⑥　3 : 30 PM, 15 November 2012
⑦　4 : 00 PM, 15 November 2012
⑧　4 : 30 PM, 15 November 2012

⑻　Contact point for the notice : Masaya Miyagawa, Procurement Department, Japan Pension Service, 5—24, Takaido-nishi 3-chome, Suginami-ku, Tokyo, 168—8505, Japan TEL 03—5344—1100

入札公告（建設工事）

次のとおり一般競争入札に付します。

平成24年9月24日

支出負担行為担当官
関東地方整備局長　森北　佳昭

◎調達機関番号　020　◎所在地番号　11

○第１号

1　工事概要

⑴　品目分類番号　41

⑵　工事名　圏央道幸手地区高架橋上部その２工事（電子入札対象案件）

⑶　工事場所　自）埼玉県幸手市平須賀
至）埼玉県幸手市神明内

⑷　工事内容　赤木前地区第二高架橋(上り線)　橋種　鋼９径間連続少主鈑桁　橋長　Ｌ＝369m　支間長　Ｌ＝40.35m＋41.0m＊７＋40.35m　幅員　9.5m　赤木前地区第二高架橋（下り線）橋種　鋼９径間連続少主鈑桁　橋長　Ｌ＝369m　支間長　Ｌ＝40.35m＋41.0m＊７＋40.35m　幅員　9.5m　幸手ＩＣ　Ｂランプ橋（上り線）橋種　鋼３径間連続少主鈑桁　橋長　Ｌ＝123m　支間長　Ｌ＝41.0m＊２＋40.35m　幅員　7.0m　幸手ＩＣ　Ｃランプ橋（下り線）橋種　鋼３径間連続少主鈑桁　橋長　Ｌ＝123m　支間長　Ｌ＝41.0m＊２＋40.35m　幅員　7.0m　工場製作工　約1,897ｔ　工場塗装工　約20,900㎡　工場製品輸送工　１式　架設工（クレーンベント工法）１式　現場塗装工　約1,430㎡　支承工　１式　合成床版工　約9,410㎡　橋梁付属物工　１式

⑸　工期　契約締結の翌日から平成26年８月26日まで。

⑹　使用する主要な資機材　鋼材　約1,897ｔ

⑺　本工事は、入札時に技術提案［施工計画］を求め、価格と価格以外の要素を総合的に評価して落札者を決定する総合評価落札方式の試行工事である。また、品質確保のための体制その他の施工体制の確保状況を確認し、施工内容を確実に実現できるかどうかについて審査し、評価を行う施工体制確認型総合評価落札方式の試行工事である。また、本工事は、契約締結後に施工方法等の提案を受け付ける契約後ＶＥ方式の試行工事である。

⑻　本工事は資料提出、入札等を電子入札システムで行う対象工事である。ただし、電子入札システムによりがたいものは、発注者の承諾を得て紙入札方式に代えるものとする。また、紙入札の承諾に関しては関東地方整備局総務部契約課に承諾願を提出するものとする。

⑼　本工事は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（平成12年法律第104号）に基づき、分別解体等及び特定建設資材廃棄物の再資源化等の実施が義務付けられた工事である。

⑽　本工事は、競争参加資格確認資料の作成にあたり設計業務成果を閲覧に供する試行工事である。なお、閲覧の対象者は本工事の入札参加希望者であり入札説明書を入手した者とする。(閲覧方法等の詳細は入札説明書による。)

⑾　本工事の完成時の工事成績評定の結果が65点未満であった場合、当該工事成績評定通知書の通知月から起算して１年間に行われる関東地方整備局（港湾空港関係を除く。)の発注する工事の入札において、総合評価落札方式の加算点等を減ずる試行対象工事である。ただし、事故減点は原則適用外とする。

⑿　本工事は、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、入札日から過去２年以内に70点未満の工事成績評定を通知された関東地方整備局が発注し完成した工事がある者に対して、現場代理人と監理技術者の兼務を認めないこととする試行対象工事である。なお、５⑺で定める監理技術者とは別に配置する技術者とも兼務を認めない。

⒀　本工事は、調査基準価格を下回った価格をもって契約する者に対して実施する工事完成後の工事コスト調査において、工事コスト調査結果の内容と、低入札調査時の重点調査の内容が著しく乖離した場合においては、施工体制台帳の確認やヒアリングの実施等を行い、乖離理由を検討したうえで場合によっては工事成績評定を減ずる試行対象工事である。なお、工事コスト調査の内訳については、工事コスト調査終了後関東地方整備局又は北首都国道事務所のホームページにより公表する。